

平成24年度事業報告

事業報告

1. 平成24年度優秀業績の表彰

平成24年度優秀業績については慎重に検討された結果、

大西 健児 氏（東京都立墨東病院感染症科）

「最近注目されている輸入感染症」

（感染症学雑誌 Vol. 85, No. 2. p139-143）

以上、1件に二木賞が授与されることとなった。

中村 茂樹 氏（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座）他2名

「Synergistic stimulation of type I interferons during influenza virus coinfection promotes *Streptococcus pneumoniae* colonization in mice」

（The Journal of Clinical Investigation 2011; 121(9):3657-3665）

上記の研究業績に対して日本感染症学会北里柴三郎記念学術奨励賞が授与されることとなった。

2. 講演会

平成24年4月25日～26日、長崎ブリックホール、他において第86回学術講演会を河野 茂 会長のもとに開催した。

a 会員の業績研究発表

口演：343題

ポスター：318題

b 会長講演

感染症学の未来を創ろう

司会：泉川病院名誉院長 原 耕平

長崎大学病院 河野 茂

c 招請講演

New Insights into Effective Host Defense in Bacterial Pneumonia

司会：日本感染症学会理事長，東京大学医学研究所先端医療研究センター感染症分野 岩本 愛吉
Pulmonary Center, Boston University School of Medicine Joseph P. Mizgerd

d 教育講演

1 新しいフラビウウイルスのワクチン開発に向けて 司会：島根大学医学部微生物・免疫学講座（微生物学ユニット） 富岡 治明
長崎大学熱帯医学研究所 森田 公一

2 発熱性好中球減少症，現状と展望 司会：福岡大学医学部腫瘍・血液・感染症内科学 田村 和夫
帝京大学医学部附属溝口病院第4内科 吉田 稔

3 HIV治療の将来像 司会：長崎大学感染病態制御学 森内 浩幸

4 未来の感染症診断 司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学 岡山 慎一

5 プリオン感染症への挑戦 司会：東邦大学医学部微生物・感染症学講座 館田 一博

6 国内発症リケッチア症の現状と課題：多様化する紅斑熱群リケッチア症を中心に 司会：済生会熊本病院健診センター 菅 守隆

7 わが国における輸入真菌症の実態とその対策—困難な症例にどう対応するか 司会：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座感染分子解析学分野 西田 教行

8 非結核性抗酸菌症への挑戦 司会：医療法人社団恵愛会大分中村病院 那須 勝
福井大学医学部附属病院感染症膠原病内科 岩崎 博道

9 感染制御のシステム構築とリスク管理 司会：大阪赤十字病院呼吸器内科 網谷 良一
千葉大学真菌学研究センター 亀井 克彦

10 鳥とヒトのインフルエンザ克服を目指して 司会：愛媛大学大学院医学系研究科生体統御内科学 安川 正貴

11 わが国におけるバイオセキュリティ研究の課題 Current Perspectives of Biosecurity Research in Japan 慶應義塾大学医学部感染制御センター 長谷川直樹

12 多剤耐性菌～未来への展望 司会：佐世保同仁会病院 齊藤 厚
金沢医科大学臨床感染症学 飯沼 由嗣

13 肺炎ガイドラインにより何がかわるか 司会：東京都老人医療センター感染症科 稲松 孝思
北海道大学大学院獣医学研究科・人獣共通感染症リサーチセンター 喜田 宏

e シンポジウム

1 災害と感染症 司会：済生会山形済生病院呼吸器内科 武田 博明

東北大学大学院医学系研究科内科学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫

- 1) 震災後の呼吸器感染症発症状況 坂総合病院呼吸器科 高橋 洋
2) 感染症サーベイランスの活用～スマトラ災害の経験を生かす～ 防衛医科大学校防衛医学研究センター 加來 浩器
3) 救急医の立場で考える災害時の感染症対策 慶應義塾大学医学部救急医学教室 佐々木淳一
4) 災害における感染症対策 東北大学大学院感染症診療地域連携講座 國島 広之
追加発言) 日本感染症学会の取り組みと大学・拠点病院との連携・協力 東京医科大学微生物学講座 松本 哲哉
2) 小児・成人の百日咳：現状の問題点とその対策 司会：大阪大学微生物病研究所 大石 和徳
1) 小児の百日咳 国立病院機構福岡病院 岡田 賢司
2) 成人百日咳の診断と治療の問題点 川崎医科大学総合内科学1 宮下 修行
3) 乳幼児期に接種するワクチンの現状と展望 司会：川崎医科大学小児科 尾内 一信
1) 日本における予防接種の新しいトレンド 長崎大学感染病態制御学 森内 浩幸
2) 細菌性髄膜炎を予防するワクチン 国立病院機構三重病院小児科 庵原 俊昭
3) ポリオワクチン 慶應義塾大学医学部感染制御センター 岩田 敏
4) ロタウイルスワクチン 川崎医科大学小児科 中野 貴司
5) わが国のB型肝炎予防における現状と予防 札幌医科大学医学部小児科 堤 裕幸
4) 研究をしませんか？～若手研究者からのいざない 済生会横浜市東部病院こどもセンター肝臓・消化器部門 乾 あやの
司会：奈良県立医科大学感染症センター 三笠 桂一
1) 感染症学における研究：日本と米国で考えたこと 聖マリアンナ医科大学微生物学/感染制御部 竹村 弘
2) 僻地医療での研究 奈良県立医科大学感染症センター 笠原 敬
3) 感染症科医からみた臨床微生物学・耐性菌研究 国立病院機構三重病院呼吸器内科 丸山 貴也
4) 薬物体内動態と薬効・毒性の関係解析に基づく臨床研究 がん研有明病院感染症科 原田 壮平
5) (各種) ガイドラインに求められること 同志社女子大学薬学部臨床薬理学 松元 加奈
司会：東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門 渡辺 彰
大分大学医学部総合内科学第二講座 門田 淳一
1) 市中肺炎 (CAP) ガイドラインに求められること 倉敷中央病院呼吸器内科 石田 直
2) 院内肺炎 (HAP) 診療ガイドラインに求められること 長崎大学第二内科 今村 圭文
3) ガイドラインに求められること：医療・介護関連肺炎 名古屋大学高等研究院/名古屋大学大学院医学系研究科呼吸器内科学 進藤有一郎
4) 結核診療ガイドラインに求められるもの JR東日本健康推進センター呼吸器科 佐々木結花
5) 真菌感染症ガイドライン 国立がん研究センター中央病院血液腫瘍科・造血幹細胞移植科 福田 隆浩
6) めざせ感染症専門医 司会：大阪大学感染制御部 朝野 和典
1) 感染症専門医の一つのroll model 宮城県立循環器・呼吸器病センター 平潟 洋一
2) 地域における感染症専門医の役割 佐賀大学医学部国際医療学講座, 佐賀大学医学部附属病院感染制御部 青木 洋介
3) 感染症専門医に必要な修練とは 群馬大学医学部附属病院感染制御部 徳江 豊
4) 未来の感染症医のあるべき姿 国立国際医療研究センター国際疾病センター/感染症内科 大曲 貴夫
7) 生体防御機構, 未来への展望 神戸大学病院感染症内科 岩田健太郎
司会：和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科 山中 昇
1) 呼吸器病原体における感染症発症機構の解明 東京医科大学微生物学講座・東京医科大学感染制御部 松本 哲哉
2) 高齢者肺炎と生体防御機構 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座 (第二内科) 中村 茂樹
3) 結核菌の抵抗性と宿主感染防御の発現制御 川崎医科大学総合内科学1 宮下 修行
4) 上気道感染症の難治化をきたすしたかな細菌の戦略 京都大学大学院医学研究科微生物感染症学 河村伊久雄
8) 免疫抑制と感染症 和歌山県立医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科 保富 宗城
司会：琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学 (第一内科) 藤田 次郎
産業医科大学呼吸器内科学 迎 寛
1) 抗酸菌感染症 長崎大学病院第二内科 山本 善裕
2) HIVと日和見感染症 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科 藤井 毅
3) ウイルス感染症 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科) 比嘉 太
4) 臓器移植における感染症 埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 光武耕太郎
9) 難治性真菌症への挑戦 司会：国立感染症研究所真菌症担当部 (生物活性物質部) 宮崎 義継
長崎大学第二内科 掛屋 弘
1) 難治性肺真菌症 特にアスペルギルス症を取り巻く問題点について 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座 (第二内科) 泉川 公一
2) 播種性トリコスポロン症の診断・治療への挑戦—カンジダ症との相違を含め— 大分大学医学部総合内科学第二講座 串間 尚子
3) 臓器移植に伴う真菌症のマネージメントと予後 京都大学医学部附属病院感染制御部 高倉 俊二
4) 深在性真菌症のアウトブレイク発生の要因とその対処法 千葉大学医学部附属病院感染管理治療部, 千葉大学真菌医学研究センター臨床感染症分野 渡辺 哲
10) 抗インフルエンザ薬と新しいインフルエンザワクチン 司会：国立感染症研究所感染症情報センター 岡部 信彦
東北大学大学院医学系研究科先進感染症予防学寄附講座 山谷 睦雄
1) わが国のインフルエンザサーベイランス 国立感染症研究所感染症情報センター 多屋 馨子
2) 抗インフルエンザ療法の考え方 杏林大学保健学部看護学科医療科学 小林 治
3) 抗インフルエンザ薬の臨床効果 九州大学先端医療イノベーションセンター 池松 秀之
4) インフルエンザ二次性細菌性肺炎の重症化とワクチンの展望 大阪大学微生物病研究所 大石 和徳
5) これからのインフルエンザ対策, ワクチンと抗インフルエンザ薬 神奈川警察会けいゆう病院小児科 菅谷 憲夫
f Meet the Expert 9題
1) 病院感染対策において医師に期待される役割 司会：東京都立墨東病院感染症科 大西 健児
長崎大学感染制御教育センター 安岡 彰

2	乳幼児におけるフォーカス不明の発熱に対するマネージメントの変遷 司会：(地方独立行政法人福岡市立病院機構) 福岡市立こども病院・感染症センター小児感染症科 国立成育医療研究センター感染症科	青木 知信 宮入 烈
3	尿路性器感染症～泌尿器科医の視点から考える～ 司会：神戸大学名誉教授 神戸大学大学院医学研究科外科系講座腎泌尿器科学分野	守殿 貞夫 田中 一志
4	自然リンパ球による感染防御～感染免疫におけるNKT細胞の役割とワクチンへの応用の可能性～ 司会：東邦大学医学部病院病理学講座 国立感染症研究所生物活性物質部第三室	渋谷 和俊 金城 雄樹
5	造血器疾患患者における真菌感染症の実態とその治療戦略～前向き疫学研究JASPER-HESTIAの結果も含めて～ 司会：国立感染症研究所真菌症担当部生物活性物質部 虎の門病院臨床感染症部・臨床感染症科	宮崎 義嗣 荒岡 秀樹
6	外科的感染症とその制御法 司会：兵庫医科大学救急・災害医学講座 藤田保健衛生大学医学部救命救急医学講座	小谷 穰治 武山 直志
7	インフルエンザと関連する肺炎の病態とマネージメントについて 司会：国立感染症研究所感染症情報センター 大阪大学大学院医学系研究科感染制御学	谷口 清州 関 雅文
8	非結核性抗酸菌—菌ゲノム解析からわかったこと 司会：福井大学医学部長・内科学 (I) 東北大学病院呼吸器内科	上田 孝典 菊地 利明
9	HIV感染症の現状と将来の展望 司会：帝京大学医学部内科学講座 国立国際医療研究センター	秋山 暢 潟永 博之
g	感染症セミナー 司会：愛知医科大学大学院医学研究科感染制御学 虎の門病院臨床感染症部・臨床感染症科 愛知医科大学病院感染制御部	三嶋 廣繁 荒岡 秀樹 山岸 由佳
1)	症例提示	
2)	解説	岐阜大学大学院医学系研究科病原体制御学分野 大楠 清文
3)	症例提示	虎の門病院臨床感染症部・臨床感染症科 荒岡 秀樹
4)	解説	虎の門病院臨床感染症部 馬場 勝 愛知学院大学薬学部微生物学講座 河村 好章
h	モーニングセミナー 1 変わりゆくHIV臨床～管理可能な慢性疾患から予防の可能性まで～ 司会：熊本大学エイズ学研究センター 横浜市立市民病院感染症内科	松下 修三 立川 夏夫
i	ランチョンセミナー 1 血液疾患の深在性真菌症の治療～Empiric therapyとPreemptive therapy～ 司会：福岡大学医学部腫瘍・血液・感染症内科 帝京大学医学部附属溝口病院第四内科	田村 和夫 吉田 稔
2	超高齢社会における肺炎球菌感染症の現状とワクチンの展開 司会：福井大学医学部長・内科学 (I) 東北大学加齢医学研究所抗感染症薬開発研究部門	上田 孝典 渡辺 彰
3	HIV感染症の治療ガイドラインUpdate 司会：がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科	今村 顕史 鯉淵 智彦
1)	最新抗HIV治療ガイドラインの解説	
2)	ガイドラインに基づいた治療の実態	国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 潟永 博之
4	Sequence based Surveillance and Detection of Hospital Acquired Infections—次世代院内感染サーベイランスシステム— 司会：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科細菌制御学分野 Pathogenica, Inc. Yemi Adesokan バイオインフォマテクス Alex Rolef	中川 一路
5	Management of MRSA in the Critically (特別): Focus on Pneumonia 司会：長崎大学病院 University of Miami, Miller School of Medicine Daniel H. Kett	河野 茂 安川 正貴
6	感染症専門医のためのロタウイルス感染症と予防ワクチン 司会：愛媛大学大学院医学部系研究科生体統御内科学 大阪府立急性期・総合医療センター小児科	田尻 仁 川村 尚久
1)	ロタウイルス感染症の臨床と疫学	
2)	本邦における予防ワクチン導入を踏まえて	大阪労災病院小児科
7	インフルエンザ診療の進歩 司会：国立病院機構九州医療センター名誉院長/博多駅前かしわざりクリニック 九州大学先端医療イノベーションセンター	柏木征三郎 池松 秀之
8	プロバイオティクスを考える—腸内細菌による感染制御— 司会：医療法人社団恵愛会大分中村病院 東北大学大学院感染症診療地域連携講座	那須 勝 國島 広之
9	咳から考える新しい感染症治療～「改訂」咳嗽ガイドラインを含めて～ 司会：倉敷第一病院呼吸器センター 川崎医科大学総合内科学I	松島 敏春 宮下 修行
10	アスペルギルスの薬剤耐性とその治療戦略を考える 司会：埼玉医科大学感染症科・感染制御科 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科感染免疫学講座(第二内科)	前崎 繁文 泉川 公一
11	成人百日咳の謎 司会：国立病院機構福岡病院 順天堂大学医学部感染制御科学・細菌学・総合診療科学	岡田 賢司 菊池 賢
12	HIV感染者で見られる日和見感染症～日常診療でHIV感染を疑うポイント～ 司会：がん・感染症センター都立駒込病院感染症科 独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター	味澤 篤 照屋 勝治
13	インフルエンザ対策～ワクチンと抗ウイルス薬～ 司会：滋賀県立成人病センター 神奈川県警友会けいゆう病院小児科慶応義塾大学医学部客員教授	笹田 昌孝 菅谷 憲夫
14	気道感染における防御機構とその制御 司会：杏林大学医学部 産業医科大学呼吸器内科学	後藤 元 迎 寛
15	感染症biomarkerとしてのProcalcitonin 司会：大分大学医学部附属病院呼吸器内科	門田 淳一

		慶應義塾大学医学部救急医学	藤島清太郎
j	イブニングセミナー		9題
	1	司会：独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器疾患センター	永井 英明
	1) ワクチン制度と今後の期待	国立感染症研究所感染症情報センター	多屋 馨子
	2) 結合型肺炎球菌ワクチンが拓く新時代	大阪大学微生物病研究所感染症国際研究センター	大石 和徳
	2	司会：北里大学感染制御機構客員教授	砂川 慶介
	MRSA感染症の最近の話題	昭和大学医学部臨床感染症学講座	二木 芳人
	3	司会：佐世保同仁会病院	齊藤 厚
	多剤耐性菌をめぐる最近の話題	東京医科大学微生物学講座，東京医科大学病院感染制御部	松本 哲哉
	4	司会：総務省人事・恩給局顧問医	島田 馨
	—高齢者肺炎における新たな概念—NHCAPの治療を考える	大阪大学医学部附属病院感染制御部	朝野 和典
	1) NHCAP診療ガイドラインの方向性	中浜医院	中浜 力
	2) プライマリケアでの治療の実際	司会：東京慈恵医科大学客員教授	柴 孝也
	5	東邦大学医学部微生物・感染症学講座	館田 一博
	変貌する感染症・耐久菌：感受性サーベイランスが示すアラート	司会：東京慈恵会医科大学感染制御部	吉田 正樹
	6	順天堂大学医学部総合診療科	内藤 俊夫
	HIV感染症の長期管理～総合診療医として～		
	7	司会：京都大学大学院医学研究科臨床病態検査学	一山 智
	感染制御における迅速検査の役割 TOF—MSと遺伝子検査を中心に	長崎大学検査部	柳原 克紀
	8	司会：兵庫医科大学感染制御学	竹末 芳生
	感染症性DICの病態と治療	名古屋大学大学院医学研究科救急・集中治療医学分野	松田 直之
	9	司会：地方独立行政法人大阪府立成人病センター	正岡 徹
	血液領域の深在性真菌症におけるキャンディン系抗真菌薬の位置づけ	福岡大学医学部腫瘍・血液・感染症内科学	高田 徹
k	ICD講習会		1題
	医療安全と感染制御	司会：宮崎大学医学部医学科内科学講座免疫感染病態学分野	岡山 昭彦
	1) 医療安全と感染制御	山形大学医学部附属病院検査部	森兼 啓太
	2) 「感染対策と医療安全」 感染対策の立場から	東京医科大学医療安全管理学	相馬 孝博
	3) リスクコミュニケーション メディア対応	長崎大学病院感染制御教育センター	栗原慎太郎
	4) 最近の施策の動向について	防衛医学研究センター	加來 浩器
l	健康セミナー	厚生労働省九州厚生局医事課	入江 芙美
		司会：長崎大学病院	河野 茂
			金井 清一
m	第60回日本化学療法学会学術集会とのJointプログラム		4題
	特別講演		
	1	A new pathogenic <i>Aspergillus</i> that causes invasive disease refractory to antifungal therapy	司会：長崎大学病院 河野 茂
		National Institutes of Health, Bethesda Maryland, USA K. J. Kwon-Chung	
	2	生態学的感染症理解—適応・進化・共生の視点から	司会：長崎大学熱帯医学研究所 竹内 勤
		長崎大学熱帯医学研究所 山本 太郎	
	3	探究する心	司会：長崎大学 学長 片峰 茂
		ボストン大学名誉教授 下村 脩	
	4	インフルエンザ	司会：産業医科大学病院 松本 哲朗
		東京大学医科学研究所感染・免疫部門ウイルス感染分野 河岡 義裕	
	教育講演		2題
	1	周術期感染対策の現状と展望	司会：東京医療保健大学/大学院 品川 長夫
		広島大学病院感染症科 大毛 宏喜	
	2	尿路感染症のガイドライン—「JAID/JSC感染症治療ガイド2011」を中心に—	司会：岡山大学大学院医歯薬学総合研究科泌尿器病態学 公文 裕巳
		兵庫医科大学医学部泌尿器科 山本 新吾	
	シンポジウム		5題
	1	感染性心内膜炎の治療ストラテジー	司会：杏林大学総合医療学教室感染症科 河合 伸
		岡山大学病院中央検査部 草野 展周	
	1) 感染性心内膜炎に対する外科治療	国立循環器病研究センター心臓血管外科 小林順二郎	
	2) 僧帽弁活動期感染性心内膜炎に対する弁形成術の役割	長崎大学病院心臓血管外科 江石 清行	
	3) 感染性心内膜炎の抗菌薬治療と課題	埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科 光武耕太郎	
	4) 感染性心内膜炎の起因菌の特徴と病原性	順天堂大学医学部感染制御科学・細菌学・総合診療科学 菊池 賢	
	2	グローバル時代の感染症	司会：長崎大学熱帯医学研究所免疫遺伝学分野 平山 謙二
		熊本大学大学院生命科学研究部先端生命医療科学部門感染・免疫学講座 原田 信志	
	1) 多剤耐性結核の現状と改良BCGワクチン開発	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター臨床研究部，同 感染症センター 松本 智成	
	2) マラリア原虫のアキレス腱を標的とするSE36マラリアワクチン開発	大阪大学微生物病研究所分子原虫学分野 堀井 俊宏	
	3) ヘリコバクター・ピロリ感染症と毒素病態学的研究アプローチ	長崎大学熱帯医学研究所細菌学分野 平山 壽哉	
	4) 耐性HIVの現状とワクチン開発	熊本大学エイズ学研究センター 松下 修三	
	5) HIV in the Era of Globalization : Experience from Northern Thailand		

- 3 多剤耐性菌への挑戦
- 司会：京都薬科大学微生物・感染制御学分野 後藤 直正
小倉記念病院感染管理部 宮崎 博章
北里大学抗感染症薬研究センター 花木 秀明
東邦大学医学部微生物・感染症学講座 石井 良和
長崎大学病院第二内科 宮崎 泰可
富山化学工業株式会社総合研究所第三研究部 野村 伸彦
司会：東邦大学医療センター大橋病院外科 草地 信也
東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座感染制御・検査診断学分野 賀来 満夫
大分大学医学部附属病院感染制御部 平松 和史
長崎大学病院救命救急センター 田崎 修
愛知医科大学病院感染制御部 山岸 由佳
東北大学大学院感染症診療地域連携講座 國島 広之
福岡大学病院感染制御部 高田 徹
- 1) MRSA
2) ESBL産生菌の変遷と最新知見
3) 薬剤耐性真菌—基礎研究の最前線と臨床への応用—
4) 地域における薬剤感受性動向調査について
- 4 院内感染対策の最前線
- 1) 内科領域における院内感染対策の課題と展望
2) 救命救急センターにおける感染制御
3) ウイルスの院内感染制御
4) *Clostridium difficile*関連腸炎の予防と対策
5) 耐性菌アウトブレイクへの対応；多剤耐性アシネトバクターの施設内感染事例が教えてくれた事
- 5 徹底比較：サンフォード熱病と感染症治療ポケットガイド
- 司会：東京慈恵会医科大学葛飾医療センター泌尿器科 清田 浩
奈良県立医科大学医学部感染症センター 三笠 桂一
奈良県立医科大学医学部感染症センター 笠原 敬
独立行政法人国立国際医療研究センター国際疾病センター・感染症内科 大曲 貴夫
帝京大学医学部附属病院感染制御部、帝京大学医学部内科学講座（感染症） 松永 直久
市民公開講座 1題
いざというとき（災害時）の感染症対策：日頃からの準備，基礎知識の習得 司会：長崎大学病院 河野 茂
産業医科大学病院 松本 哲朗
- 1) 「もし」が「ホント」になったとき，私たちにできること～福島第一原発医療支援の経験をとおして～
産業医科大学病院感染制御部 鈴木 克典
2) その時，長崎は～東日本大震災，過去の長崎での災害，そして，これからに備えて～
長崎大学病院臨床研究センター 福島 千鶴
長崎大学病院感染制御教育センター 塚本 美鈴
3) いざという時に備えて～ふだんから知っておきたい感染症予防～

3. 雑誌刊行

1) 感染症学雑誌

86巻1号より逐次刊行した。

地方会学術集会プログラムを掲載した。

学会誌「日本伝染病学会雑誌（1926-1958）」、「日本伝染病学会雑誌（1958-1970）」、「感染症学雑誌（1970-現在）」すべてが電子化されHPに掲載した。

二重投稿・盗用の罰則規定を制定した。

2) Journal of Infection and Chemotherapy

Vol.18, No.1より逐次刊行した。

Vol.18, No.4より1号当りの頁数を増とした。

インパクトファクター：1.796

二重投稿・盗用の罰則規定を制定した。

4. 地方会

- ・第61回東日本地方会学術集会は、平成24年10月10日～12日の3日間、館田一博会長のもとで第59回日本化学療法学会東日本支部総会（金子明寛会長）と合同で東京都・ホテル日航東京で行われた。

特別講演 3題、招請講演 3題、教育講演 10題、シンポジウム 26題、新薬シンポジウム 1題、教育セミナー 34題

感染症セミナー 1題、ICD講習会 1題

一般演題 157題

参加人数 1614名

- ・第55回中日本地方会学術集会は、網谷良一会長のもとで、第82回西日本地方会学術集会は、門田淳一会長のもとで平成24年11月5日～7日の3日間、第60回日本化学療法学会西日本支部総会（山中昇会長）と共同開催で福岡市・アクロス福岡で行われた。

特別講演 3題、教育講演 8題、シンポジウム 11題、新薬シンポジウム 1題、特別報告 1題、特別企画 1題、

Meet the Expert 4題、ランチョンセミナー 12題、イブニングセミナー 3題、感染症セミナー 1題、ICD講習会 1題

一般演題（中日本） 101題

一般演題（西日本） 116題

5. 院内感染対策講習会

1) 講習場所、期間及び人員

- ①. 院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

有楽町朝日ホール	(医師)	平成25年 1月10日、11日	91名
	(看護師)	平成25年 1月10日、11日	199名
	(薬剤師)	平成25年 1月10日、11日	105名
	(臨床検査技師)	平成25年 1月10日、11日	101名
神戸国際会議場メインホール	(医師)	平成25年 1月28日、29日	83名
	(看護師)	平成25年 1月28日、29日	188名
	(薬剤師)	平成25年 1月28日、29日	91名
	(臨床検査技師)	平成25年 1月28日、29日	84名

- ②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

フォレスト仙台	(医師)	平成24年11月26日、27日	31名
	(看護師)	平成24年11月26日、27日	100名
	(薬剤師)	平成24年11月26日、27日	34名
	(臨床検査技師)	平成24年11月26日、27日	31名
有楽町朝日ホール	(医師)	平成25年 1月 8日、 9日	66名
	(看護師)	平成25年 1月 8日、 9日	200名
	(薬剤師)	平成25年 1月 8日、 9日	77名
	(臨床検査技師)	平成25年 1月 8日、 9日	82名
奈良県文化会館国際ホール	(医師)	平成24年11月21日、22日	61名
	(看護師)	平成24年11月21日、22日	180名
	(薬剤師)	平成24年11月21日、22日	75名
	(臨床検査技師)	平成24年11月21日、22日	67名
九州大学医学部百年講堂	(医師)	平成25年 1月24日、25日	44名
	(看護師)	平成25年 1月24日、25日	124名
	(薬剤師)	平成25年 1月24日、25日	44名
	(臨床検査技師)	平成25年 1月24日、25日	43名

- ③. 高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

はまぎんホールヴィアマーレ		平成25年 2月14日、15日	155名
		合 計	2356名

2) 講習内容

1. ①院内感染対策に関して、地域において指導的立場を担うことが期待される病院等の従事者を対象とした院内感染対策に関する講習会

院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）	45分
医療機関における感染制御の基本	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
周術期感染対策	45分
血液媒介感染対策・職業感染対策	45分
アウトブレイク対応の実際	45分
院内感染対策に関連する環境整備	45分
地域における感染対策のネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分

2. ②. ①の受講対象となる医療機関と連携し、各医療機関の院内感染対策の推進を図ることを目的とした講習会

院内感染対策のシステム化・連携	45分
院内感染関連微生物（新しい話題の感染症の種類と特徴を含む）	45分
医療機関における感染制御	45分
高齢者介護施設における感染制御	45分
洗浄・消毒・滅菌の基本と実際	45分
抗菌薬の適正使用（薬剤の選択と投与計画）	45分

医療器材関連感染	45分
呼吸器感染対策	45分
血液媒介感染対策・職業感染対策	45分
周術期感染対策	45分
院内感染対策に関する環境整備	45分
アウトブレイク対応の実際	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
パネルディスカッション	80分

3. ③高度な医療を提供する特定機能病院等の院内感染対策の推進及び近隣医療機関等への指導助言体制の充実を図ることを目的とした講習会

大規模施設における感染対策システムの構築	45分
感染症サーベイランス・微生物モニタリングの実際	45分
院内ラウンドの実際とそのポイント	45分
抗菌薬および消毒薬の使用と管理	45分
新興感染症への対応（パンデミックインフルエンザ対策を含め）	45分
大規模流行を起こす感染症への対応（アウトブレイク対応）	45分
感染対策に関する環境整備	45分
感染対策教育・研修システムの構築と人材育成	45分
リスクコミュニケーション・メディア対応	45分
感染対策における情報入手と活用法	45分
地域における感染対策ネットワーク構築	45分
院内・施設内感染関連法令	40分
感染対策活動事例の紹介	45分
パネルディスカッション	80分

6. 施設内感染対策相談窓口事業

平成24年 3月1日～平成24年 3月31日	質問件数	1件
平成24年 4月1日～平成25年 2月28日	質問件数	19件
e-consultation		
平成24年 4月1日～平成25年 2月28日	質問件数	4件

7. 感染症専門医

1) 感染症専門医試験合格者 57名

(敬称略)

青柳 哲史	上松 一永	池邊 太一	伊藤 明広	乾 啓洋	氏家 無限	牛木 淳人
江里口芳裕	大毛 宏喜	小川 拓	小野 昭浩	梶原 俊毅	勝田 友博	加藤 英明
加藤 誠章	川波 敏則	河野 真二	工藤豊一郎	古賀 道子	小金丸 博	小林泰一郎
小林 良樹	古宮 伸洋	齊藤 誠司	佐藤 留美	清水 少一	志馬 伸朗	下田 慎治
末盛浩一郎	杉本 貴昭	鈴木 博貴	田代 将人	谷合 啓明	谷口 晴記	樽本 憲人
塚越 正章	露口 一成	土井 朝子	中川 智代	長崎 彩	仲松 正司	長森 恒久
西島 健	根本 隆章	福山 一	藤田 浩平	松田 俊明	松本 聡	村上 雄一
村田 研吾	森 伸晃	山岸 由佳	山田 友子	横田 恭子	吉村 幸浩	吉本 昭
若竹 春明						

2) 更新者 172名

3) 指導医 45名

4) 感染症専門医認定研修施設 195施設（ホームページ参照）

5) 専門医育成経過措置としての連携研修施設	研修に3年を要する施設	58施設（ホームページ参照）
	研修に4年を要する施設	41施設（ホームページ参照）

6) 専門医研修カリキュラムの改正（追記事項下線）

1. 総論

1.7 院内感染

1.7.5 職業感染とその対応

1.7.5.1 個人防護具

1.7.5.2 血液体液暴露対策

1.7.5.3 医療従事者へのワクチン接種

1.7.5.4 職員の健康管理

1.8 医療安全

1.8.1 医療安全の定義

1.8.2 ヒューマンファクターズ

1.8.3 カンファレンス

1.8.4 リスク・コミュニケーション

- 1.8.5 リスクの認知
- 1.8.6 チーム医療
- 1.8.7 RCA (Root Cause Analysis: 事例要因分析)
- 1.9 医療倫理
 - 1.9.1 医療倫理の定義
 - 1.9.2 患者の権利
 - 1.9.3 インフォームド・コンセント
 - 1.9.4 守秘義務
 - 1.9.5 患者隔離
 - 1.9.6 臨床研究

8. インフルエンザに関連して以下を行った。
 - ・ 提言「インフルエンザ病院内感染対策の考え方について（高齢者施設を含めて）」（ホームページ掲載）。
 - ・ 第61回東日本地方会において緊急討論「“新型”インフルエンザから以下に国民を守るか～新型特措法の問題を含めて～」を行った（要約をホームページ掲載）。
 - ・ 日本記者クラブにおいて「新型インフルエンザ等特措法とインフルエンザ」を行った。
 - ・ 新型インフルエンザの診療に関する研修を日本呼吸器学会と共催して行った（主催：厚生労働省）。
 - ・ 日本記者クラブにおいて「インフルエンザ」を行った。
9. 「風疹の流行について」ホームページに掲載した。
10. ゲンタマイシンに関する使用実態調査に協力した。
11. 予防接種キャンペーンに協力した。
12. 予防接種推進専門協議会から厚生労働大臣へ「予防接種に関する評価・検討組織に関する提言」、「A型肝炎ワクチンの小児適応拡大に関する早期承認の要望書」、「狂犬病ワクチン不足への対応について」を提出した。
13. ICD制度協議会 新規認定者 182名 更新者 350名
14. 日本化学療法学会と合同で「JAID/JSC感染症治療ガイド2011」を刊行した。

庶務報告

1. 会員数 正会員：10,909名 賛助会員：19件 平成25年2月28日現在
除名については該当者無し
2. 一般社団法人認可申請を行い認可を受けた。平成25年3月1日登記完了。
3. 第86回日本感染症学会総会は平成24年4月25日、長崎ブリックホールにおいて行った。臨時総会は平成24年10月12日、ホテル日航東京において行った。
4. 平成24年度評議員会は平成24年4月25日、長崎ブリックホールにおいて行った。臨時評議員会は平成24年10月12日、ホテル日航東京において行った。
5. 理事会は5回行った。
6. 常任理事会は1回行った。
7. 感染症学雑誌編集委員会は6回行った。
Journal of Infection and Chemotherapy編集委員会は6回行った。
8. 学会賞選考委員会は1回行った。
9. 専門医審議会は1回行った。専門医試験委員会は7回行った。専門医カリキュラム委員会は1回行った。
専門医テキスト委員会は1回行った。
10. ワクチン委員会は1回行った。
11. 感染症セミナーWGは3回行った。
12. JAID/JSC感染症治療ガイド・ガイドライン作成委員会は3回行った。
13. MRSA感染症の治療ガイドライン作成委員会は6回行った。
14. 四学会理事長懇談会は1回行った。
15. 経理事務打合会は1回行った。